

氏 名：井澤 達哉

派遣元：静岡県

派遣期間：H28.4.1～H29.3.31

所 属：総括担当

派遣されてから約2週間後に熊本地震が発生し、発災直後、官邸で総理をはじめとする非常災害対策本部会議に携わり、これまで経験したことがない緊張感に包まれ、国の中枢に自分が派遣されたことを実感しました。

また、部局内では、各担当室が責任を持ち復旧・復興に向け、職務を果たそうとしている姿を目にすると自分も与えられた職務を全力で取り組まなければと強く感じました。実際に熊本県に派遣され、被災地で福祉避難所の開設の仕事に携わり、この経験が必ず静岡県民のために役に立つと考えています。

内閣防災に派遣され、職員の仕事に対する覚悟を見ることができたことは、今後の大きな財産になりました。

氏 名：上野 央裕

派遣元：高知県

派遣期間：H28.4.1～H29.3.31

所 属：総括担当

私の担当は、国会関係および議員や自治体等からの依頼に関する調整業務でした。大臣や国の局長と近い距離で仕事ができるという点では他にない経験ができました。自民党本部での議員の部会等、国の動きがダイナミックに感じられ、県にいたころは聞き流していたような国会の話題やニュースも身近に感じ、社会は様々な人間の考えによってちゃんと動かされているものだと感じることができました。

総括担当では、仕事をする上でのルール、省庁間の関係性等を理解することができます。地方自治体にとって国との関わりはとても重要なものです。

ここで得たものは防災業務に限らず今後の長い県庁人生においても非常に有意義なものであると思います。

氏 名：池田 拡介

派遣元：熊本県

派遣期間：H27.4.1～H29.3.31（2年間）

所 属：災害緊急事態対処担当（H27 地方・訓練担当）

私は、2年間勤務の機会をいただき、地方訓練担当で研修や訓練、災害緊急事態対処担当で発災時の初動対応や本部運営、応急対策活動計画の改定等多くの業務に携わることができました。特に熊本地震では、甚大な被害が発生した益城町の避難所運営支援のため約1か月現地派遣され、改めて被災自治体支援の難しさや重要性について身を持って理解を深めることができました。

内閣府で学んだ経験・知識等を活かして熊本県の防災業務に取り組んで参りたいと思います。

また、研修を通して学んだ視点や思考、国・自治体・関係団体等多くの方とネットワークが構築できたことは大きな財産になると確信しています。

氏 名：窪田 裕貴

派遣元：山梨県

派遣期間：H28.4.1～H29.3.31

所 属：災害緊急事態対処担当

私は、災害緊急事態対処担当として、主に南海トラフ地震における具体的な応急活動に関する計画に基づく災害医療分野の訓練の企画調整、計画の改訂作業に携わったほか、熊本地震や北海道・東北地方における一連の台風被害への対応においては、政府の非常災害対策本部等の運営や現地派遣を経験しました。

まさに政府の災害対応の中枢と呼ばれる環境で、自治体とは異なるマクロな視点に立って対応する現場を学ぶということは貴重な経験であり、行政職員としての幅を拡げることができたと感じています。

また、研修を通して築いた、国の職員をはじめ様々な自治体の職員や関係機関の方々との、人脈という財産を今後も大切にしていきたいと思っています。

氏 名：松本 一美

派遣元：東京消防庁

派遣期間：H27.4.1～H29.3.31（2年間）

所 属：災害緊急事態対処担当

私は、口之永良部島の火山噴火、熊本地震など全国で発生する多様な災害について政府の初動対応に関わることや各組織がどのような対応をしているか学ぶことができ、視野が広がりました。

また、まったくの知識ゼロから原子力に関する訓練やマニュアル改訂等において、専門家とのやりとりを通じて高度な専門知識にもふれることができました。

氏 名：増田 浩明

派遣元：神奈川県

派遣期間：H28.4.1～H29.3.31

所 属：地方・訓練担当

私は、地方訓練担当で人材育成・研修業務に携わり、第一線で活躍される有識者が参加する「防災スペシャリスト養成企画検討会」等を通して、幅広い防災分野について横断的・俯瞰的に学ぶことが出来ました。

その他にも、「防災スペシャリスト養成研修」では、事務局と研修生を兼務させていただき、受講生だけでなく、講師の方とも交流することができ、多様な人的ネットワークを構築することが出来ました。

また、平成28年熊本地震では、発災後の早い段階で首相官邸にある危機管理センターでの業務や、被災地での業務など貴重な経験を得ることが出来ました。

今後は、派遣元である神奈川県での防災業務に研修で得た経験等を活かしていきたいと思えます。

氏 名：黒木 拓也

派遣元：東京消防庁

派遣期間：H27.4.1～H29.3.31（2年間）

所 属：調査・企画担当

私は、平成27年4月から2年間、調査・企画担当において、主に風水害対策の検討業務に携わりました。特に、平成27年9月関東・東北豪雨による被害を受けて設置された「水害時の避難・応急対策検討ワーキンググループ」及び平成28年台風第10号による被害を受けて設置された「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドラインに関する検討会」では、それぞれの水害における課題を整理し、改善方策を検討するという迅速な国の動きを肌で感じることができ、非常に貴重な経験となりました。

また、研修を通じて様々な機関の方と交流できたことも、大きな財産となりました。

氏 名：山下 和樹

派遣元：長崎県

派遣期間：H28.4.1～H29.3.31

所 属：調査・企画担当

内閣府は、関係する地域や省庁を横断して連絡調整しながら業務を進めるため、県よりも広い視野や専門的な視野に立って自らの知見を深めることができました。

また、熊本地震被災地の現対本部で災害対応にもあたるなど貴重な経験もすることができました。

組織としても、市町村に対して助言等を行う都道府県は、地域の防災に対して大きな責任を負っており、組織として対処能力を向上させるためには、各自治体内の取組だけでなく、県内、地方ブロック間の交流による支援体制の確立や国との密な連携も必要になりますが、OJT研修生として業務を行うことはこれらの実施に必要な知見や人脈を得ることにつながると感じております。

氏 名：井場 宏樹

派遣元：広島県

派遣期間：H28.4.1～H29.3.31

所 属：普及啓発・連携担当

私は、普及啓発・連携担当室に配属され、「災害被害を軽減する国民運動」を主に担当しました。

各種イベント開催や広報誌・動画など各種広報資料を作成し、多くの方々に防災・減災の取組の重要性について普及啓発を行いました。特に8月に開催した「第1回防災推進国民大会」では、多様な団体が防災に関するシンポジウムや展示等を行い、多くの方に来場していただき、防災・減災について考える良い機会としていただきました。

また、様々な業務に関わる中で、各省庁や地方自治体の方、多くの有識者と関わる機会もあり、大変多くのことを学ぶことが出来ました。

今後もこの研修により得た知識とネットワークを広島県の業務に活かしていきたいと思います。

氏 名：阿久澤 晃仁

派遣元：群馬県

派遣期間：H28.4.1～H29.3.31

所 属：被災者行政担当

平成28年度は4月の熊本地震をはじめ、台風10号、糸魚川市における大規模火災など様々な災害に見舞われ、その都度、迅速適切に行われる国の対応について実務を通じて学ぶことができたのは、とても勉強になりました。

また、実務に当たっては様々な関係機関や都道府県、市町村と密な連絡調整を図りながら行うことで、より一層深く業務に携わることができ、理解を深めるきっかけとなりました。

群馬県は、これまで大きな災害が起きたことがないことから、災害対応の実務経験がある職員はほとんどおりません。1年間の研修を通じて得られた知識や経験、人のつながりは後にも先にも得難い大変貴重なものとなりました。

氏 名：増山 博文

派遣元：神奈川県 大和市

派遣期間：H28.4.1～H29.3.31

所 属：被災者行政担当

内閣府防災は、各省庁からの職員のほか、都道府県や市町村、指定公共機関など様々な方々が来られていますので、課題へのアプローチの視点や考え方などがさまざまであり、常に新鮮な驚きを感じられる研修でした。

被災者行政室の中でも避難所担当として、熊本地震や台風第10号など、今年度に発生したすべての災害対応に主体的に関わることができました。特に災害時には、研修生と言う立場は関係なく、さまざまな仕事をどんどん与えてくださいますので、仕事を通して、第一線で働く有識者と関わる機会もあり、多くの考え方を学ぶことができました。

1年間の研修を通じて得た経験は、いろいろな意味において、自分にとって貴重な経験となりました。

氏 名：稲石 和豊

派遣元：愛知県

派遣期間：H28.4.1～H29.3.31

所 属：事業推進担当

私は、事業推進担当で主に被害認定業務や災害時の住まいの在り方について担当しました。

着任早々、熊本地震が発生し災害対応、国会対応など、何もかもが初めての事で戸惑いました。そんな中であって、スピード感の違いや仕事の進め方、資料作成等多くの事を学ぶことができて大変勉強になりました。

内閣府防災での1年を活かして、常在戦場の精神でがんばっていききたいと思います。

最後に、全国各地で次々起こる災害対応など中央省庁で勤務する皆さんの苦労をほんの少しでも共有できたことは貴重な経験になりました。

氏 名：岡崎 竜也

派遣元：ソフトバンクモバイル（株）

派遣期間：H28.4.1～H29.3.31

所 属：災害緊急事態対処担当

配属 2 週間で熊本地震が発災し、激甚災害という悲惨な事態ではありますが自身にとってはいい経験となっております。

また、熊本を始め、岩泉町、糸井川市といった被災地へ派遣され、第一線で対応されている職員と間近に接することができ、災害対応におけるノウハウや対応困難な点を直に感じる事ができました。

有明の丘研修では、有識者を始め、関連省庁・地方自治体等あらゆる人達と交流を持ち意見交換をさせて頂きました。

1 年間の業務・研修を通じて得た知識・経験・人脈は、自分の人生にとって貴重な財産となりました。これからはライフライン（通信）を守る一機関として、責務を全うしていきたいと思っております。

氏 名：山田 裕治

派遣元：佐川急便（株）

派遣期間：H27.4.1～H29.3.31（2 年間）

所 属：地方・訓練担当

私は、主に訓練の企画及び運営業務に携わり、関係機関との総合調整の難しさを感じながら、訓練の組み立て方等を勉強できました。

また、日常業務とは別に「防災スペシャリスト養成研修」をはじめ、様々な研修や講義、施設見学等のカリキュラムが充実しており、幅広く受講することもできました。特に、28年度の「防災スペシャリスト養成研修」では、訓練事例等を紹介する講師を務めさせて頂き、良い経験となりました。

その他、熊本地震の政府現地対策本部要員として計 26 日間、災害対応を直接肌で感じる事ができたのは、大変貴重な経験であります。

2 年間で培った人脈と経験は貴重な財産であり、今後様々な場面で役立つものだと感じております。